

6. 今後の道路行政についての意見・提案

平成20年10月の国土交通省道路局の新たな中期計画の策定に際して、四国地方では四国四県知事、全95市町村より「今後の道路行政についての意見・提案」を頂いた。

(1) 四国四県の意見の特徴

地域の現状と抱える課題と将来像及び道路施策として重点的に取り組むべき事項としては、四国全体では、「身近な道路に関すること」が最も多く、次いで「生活幹線道路の整備」「災害対策」が高くなっている。

各県の特徴を見てみると、4県とも「身近な道路に関すること」、次いで「生活幹線道路の整備」が多い意見となっている。

3番目の意見としては徳島県、愛媛県、高知県は「災害対策」を望む意見が多い。香川県は「事故対策」と「都市や交通拠点を結ぶ道路整備」、が3番目に多い意見となっている。

4番目の意見として、徳島県は「高速道路の整備」、高知県は「都市や交通拠点を結ぶ道路整備」、愛媛県は「渋滞対策」、「高速道路の整備」を望む意見が多くなっている。

四国8の字ネットワークに関する意見は、南海・東南海地震が起こった場合の国道の代替路線となる四国8の字ネットワークの整備（災害対策）や都市と地方の格差を無くする四国8の字ネットワークの整備（都市や交通拠点を結ぶ道路整備）、宇和島市内渋滞解消のための四国横断自動車道西予宇和～宇和島北および宇和島道路（渋滞対策）など、速達性だけでなく、様々な課題解決のために四国8の字ネットワークの整備を望む意見が多い。

都道府県名	回答自治体数		(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	(コ)	(サ)	(シ)	(ス)	(セ)	(ソ)	(タ)	※	その他
			交通事故対策	道路管理の充実	渋滞対策	高速道路の整備	生活幹線道路の整備	公共交通機関への支援	環境対策	(カーナビ)情報の充実キITS	環状道路の整備	バリアフリー対策(歩道の段差の解消など)	電柱類の地中化	災害対策	自転車利用の促進	景観の改善	都市や交通拠点を結ぶ道路整備	わかりやすい案内標識などの整備	※身近な道路に関すること	(冬期交通について)
徳島県	25	意見の割合	40%	48%	24%	56%	84%	12%	20%	0%	8%	24%	4%	76%	0%	16%	52%	8%	96%	0%
		順位				4位	2位							3位			5位		1位	
香川県	18	意見の割合	67%	56%	56%	22%	83%	39%	17%	0%	17%	44%	6%	39%	22%	11%	67%	11%	94%	0%
		順位	3位	5位	5位		2位											3位		1位
愛媛県	21	意見の割合	33%	33%	57%	57%	86%	19%	14%	0%	10%	10%	10%	76%	10%	14%	48%	0%	90%	0%
		順位			4位	4位	2位							3位					1位	
高知県	35	意見の割合	40%	34%	20%	54%	100%	3%	23%	0%	0%	29%	3%	86%	0%	11%	60%	3%	100%	0%
		順位				5位	1位							3位			4位		1位	
四国計	99	意見の割合	43%	41%	35%	49%	90%	15%	19%	0%	7%	26%	5%	73%	6%	13%	57%	5%	96%	0%
		順位	6位	7位	8位	5位	2位	11位	10位	17位	13位	9位	15位	3位	14位	12位	4位	15位	1位	

※生活道路の他、歩道、バリアフリー、生活幹線道路などに対する要望含む

図-48 今後の道路行政についての意見・提案 県別集計